

(別紙様式1-2)

## 道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和8年度）

### 1 学校の概要

(1) 学校名 坂出市立林田小学校

(2) 所在地 香川県坂出市林田町2215番地1

(3) 学年別児童生徒数及び学級数, 教員数 (令和8年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援学級	児童数計	教員
2学級 42名	2学級 43名	2学級 43名	2学級 50名	2学級 58名	2学級 47名	2学級 9名	292名	24名

### 2 研究主題等

(1) 研究主題 自己の生き方についての考えを深め, よりよい生き方を求める道徳教育  
— 主体的に考え, 自他共に認め合い, 高め合う児童の育成 —

(2) 研究主題設定の理由

児童が主体的に生きる力を育むために, 本校では「よりよく生きようとする児童の育成」を目指す。道徳科を要とした教育活動を通して養った判断力を, 主として特別活動の実践で具現化し, その振り返りを再び道徳科で深めることが重要だと考える。このサイクルを経て, 道徳的価値の自覚と豊かな人間関係の構築, 集団の一員としての主体性が養われるであろう。道徳性を養う過程で児童同士の肯定的な関わりを生み出し, 教育活動全体を通して切磋琢磨できるような児童を育成したいと考え, 研究主題を設定した。

(3) 研究内容及び方法

児童が多様な価値観にふれながら自らの生き方を選択できるように, 道徳科を要とした教育活動を展開する上で3部会(まなびづくり・なかまづくり・ハートフル)を組織し, 研究を進める。今年度は特に, ①道徳科の授業における展開段階での話し合い活動や書く活動, 体験的な学習の充実を意識した全学年による道徳科の研究授業の実施, ②異年齢集団による縦割り班活動「にこにこ活動」を通して, 上学年・下学年のそれぞれがキャリア形成の基礎となる対人能力や自律性を養うこと, ③自己表現力の向上や支持的風土の醸成をねらったソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターの実施, ④PDCAサイクルで自己実現を図る「キラキラアップカード(キャリア・パスポート)」の活用などに注力する。また, 昨年度に引き続き, 毎月「道徳だより」を発刊し, 家庭や地域への啓発や連携をねらう。

### 3 成果の評価計画

児童の道徳的な成長の様子を, 授業中の発言や行動の変容, ワークシートやポートフォリオへの記述内容から継続的に観察・記録し, 個々の内面の変化を把握する。内容項目に関する全校児童へのアンケートを年間4回(年度初めと学期末), 道徳教育に関する保護者へのアンケートを年間3回(学期末)実施し, 経過変化を分析する中で児童や家庭での様子についても多面的に捉える。さらに, 教員による授業実践の振り返りや協議を通して, 指導方法や教材の有効性を検証し, 今後の改善に生かす。

### 4 研究成果の普及方法

研究成果は, 研究紀要や実践事例集としてまとめて普及する。また, 「香川の教育づくり発表会」や四国小学校道徳教育研究発表会での発表を通じて実践内容を他校の教員とも共有し, 指導方法や教材の工夫についての理解を深める機会を設ける。